

こちら現場です！ 建設現場から担当がお伝えします

みなさんこんにちは、お元気ですか、へくしょん。
信州の桜もようやく満開になって、泥だらけのスタッドレスタイヤもお役ごめん、茅野市民館の夜景も鮮やかにライトアップされるようになりました。銀河鉄道みたいに光り輝くスロープ棟や、艶やかな絨毯のように浮かび上がる東側のうねった壁はもうごらんになりましたか？

現場は工事も終わり、細かい調整や清掃、家具、中庭などを残すのみとなって、みなさんに使っていただくことをまだかまだかと待ち受けています。

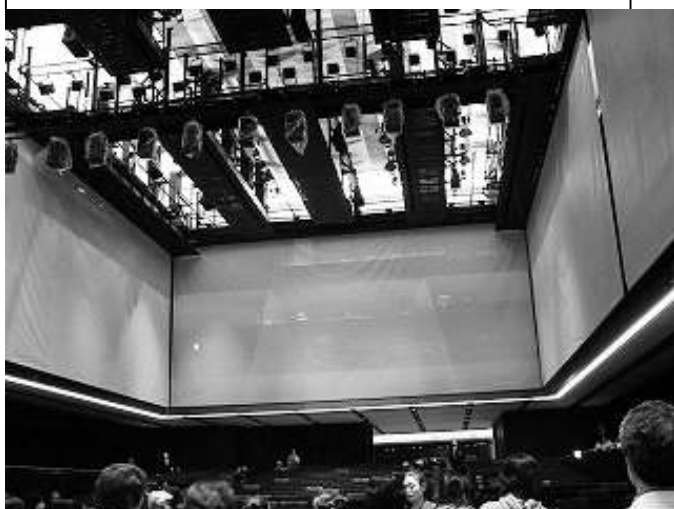
新しい市民館は、旧市民会館とはまったく違う施設です。いろんな施設や機能が詰まっているけれど、どれが中心というのではなくて、機能も空間も、そしてそれを使う人たちもすべてが互いに結びついて刺激を生み出すように、一生懸命考えました。だから「俺はマルチホールしか興味ないよ」とか、「私は美術館さえ良ければそれでいいわ」なんて言わないで、いつもよりほんの少し視野をひろげて、余計なおせっかいをしたりされたりしながら、新しい発見をしていってほしいと思っています。
今までできたあんなことができない、あそこで見たこれが見たい、というのではなくて、ここでしかできないことは何か。そんなことを考える人がたくさん集まる場所になったらとても嬉しいです。
次回からはいよいよ建物の紹介です。へくしょん。

(三浦文典 / NASCA一級建築士事務所・早稲田大学嘱託研究員)

内部の写真です。共通ロビーの階段とエレベーター



マルチホール 二階席を覆うスクリーン



*** 「市民館 Q & A」 ***

皆さんから頂いた質問に答えてもらいました。

新しい施設なので分からないこともありますね。質問してくださいね

Q. 個人でも市民館の利用を申し込めるの？

A. もちろん個人でもお申込みはできます。最初に市民館の窓口で利用者登録をしていただきます。登録には本人確認のための書類(運転免許証、保険証、学生証等)が必要です。登録手続き終了後は利用計画書に記入、提出をしていただければご利用は可能です。詳しいお申込み案内は窓口にご用意しておりますので遠慮なくお申し出ください。みなさまのご利用をお待ちしております。

Q. 市民館の利用申込みはどうすれば良いの？

A. 市民館事務室の窓口でお申込みができます。各施設の空き状況は窓口で確認できます。窓口にお越しになれない方は電話またはファックスでお問い合わせ下さい。また、市民館ホームページでも確認できます。希望施設、日程などが決まりましたら、直接窓口にて手続きをしていただけます。各施設の申込み受付期間が異なりますのでご注意ください。

Q. 市民館にはいつから入れるの？

A. 全館がオープンするのは平成17年10月1日(土)です。スロープ棟の図書室から共通ロビー、レストランは平成17年7月17日(日)の竣工式からオープンいたします。茅野駅からそのままスロープ棟への通路が使えるようになります。通行できる時間は午前9時から午後7時まで。但し、市民館休館日の火曜日は通行できません。レストランの詳しい営業時間は未定ですが、素敵なお食事をお楽しみに。

(株) 地域文化創造 事業部 河西

お知らせ 茅野市民館プレオープニング事業 8月28日 演劇公演「尺には尺を」

シェイクスピアのお芝居なんて昔の外国の話だし、難しそう……
"シェイクスピア"と聞くとそう思う人も多いでしょう。
しかし、実はシェイクスピア作品は人間関係や人間の感情を描いているもので、私たち一人一人の身近にある関係、そして自分自身の感情に重ね合わせることでできる物語なのです。

子供のためのシェイクスピアカンパニー『尺には尺を』
作：ウィリアム・シェイクスピア 脚本・演出：山崎清介

前売開始 6月15日(水) 茅野市民館事務室窓口にて発売

日 時 2005年8月28日(日)
午後2時開演(開場午後1時30分)

場 所 茅野市民館 マルチホール(大ホール)

料 金 全席指定(税込)

A席 3,900円 B席 3,500円 C席 2,800円

子ども券割引(高校生以下) -1,000円

おやこセット割引(子ども1おとな1) -500円

左上の写真

事務所側の共通ロビーから駅のホームに向かって見えています、ホール使用時にはポールによって仕切りができます。

左下

一階席だけの使用時はこれで使えます。スクリーンに画像投影などいろんな使い方ができそうです。

右上

共通ロビーから図書室、駅通路方面を見えています。手前の丸いのはトイレです。どんなのかお楽しみに！

右下

駅通路から曲がったところ。右側が図書室です。

このスロープの左側には駅のプラットフォームが見えます。

「あずさ」のお客さんに手を振ってあげましょう。

7月17日からはここを見いただけます！ お楽しみに！！

美術館情報

美術館の展示室に配置された数々の作品。それらは、展示に関わる人々が試行錯誤を繰り返した結果、その場所にあるのです。

展覧会を組み立てるとき、まずは展示プランを作成します。展示する作品の選定を行い、図面上で作品配列を決定したのち、いざ現場へ。しかし、展示プランどおりに一度でびたりと収まることはまれです。作品配列の順序、高さ、作品同士の間隔からはじまり、照明の当たり具合、キャプションやパネルの大きさと位置、展示器具の選択など、会場内で実際の様子を見ながらでないと判断できない部分が多くあります。展示室内を行ったり来たりしながら、微調整を重ねるという粘り強い作業のもと、最終的な位置が決定されるのです。

また、作品の設置にあたっては、美術品取り扱い専門業者の手を借りることも多いため、館側と業者との連携は大切な要素となってきます。

展示に携わる人々の技術とアイデアで、展示空間は多様に変化します。そのようなところに、展示作業の面白さと奥深さが存在していると言えるのではないのでしょうか。

市民館では、竣工式美術系イベントに向け、展示空間などについて研究する「芸術空間研究クラブ」を立ち上げます。一緒に展示空間の可能性を探ってみませんか。メンバー募集については、本紙4ページをご覧ください。

小林宏子 / 学芸員

